

# 防府がちゃ

Vol. 1



## 井井

アルク防府店の近くにあった、手作りうどんの店「井井」。2017年に借しまれつつ閉店。学生限定のバカ盛定食は、腹ペコ学生のおなかを満たしてくれました。小さなメモの「バカ盛定食名簿」は、今でも大切に保管されているそうです。ぶつ切りの鶏の唐揚げも絶品でした。お店の外の柱には、篠原さんの手書きで「よう来たね 待ちよたんよ」と書かれており、いつも私たちを温かく迎えてくれました。



## 防石鉄道バス

防石鉄道は1914年創立から78年間、かつて防府と徳地をつないだ地域の足として活躍しました。鉄道は防府駅から徳地(現山口市)を結ぶ路線として活躍しました。その後バス事業へ転換、のどかな景色の中を走るバスは、防府に住まう人々の日々の移動をそと支え続けてきました。現在は防長交通として運行しており今もなお市民の交通利用手段として愛されています。



## ふたばやサンドイッチ

数多あるパン屋さんの中で人気を博す「二葉屋」。創業70年以上の歴史あるパン屋さんは長年防府市民に親しまれています。特にサンドイッチは独特の昔ながらの包装で包まれており、懐かしさを感じる優しい味は市内外から根強いファンが今も数多くお店を訪れています。毎年防府で行われる市民マラソンや裸坊祭りの参加者の中にも、サンドイッチが目当てで参加している人がいるほどの人気を誇っています。



## 丸久防府駅前店

株式会社丸久は、1954年に防府で9社の仲間が集まり「防府専門大店」というお店を立ち上げた後、屋号を「丸久」に変更し誕生しました。防府駅前店は1960年頃に開設され、防府駅前に立地し、衣料品や家電売り場も備えた3階建ての大型店舗でした。



## ネオゴールド

防府酪農から販売されている清涼飲料水。販売箇所は様々あり、その中でも学校購買で販売のあった売店では生徒達から「ネオ金(キン)」と呼ばれ親しまれた一品。さわやかな飲み口やそのネーミングから販売当時は学生を中心に大人気を誇った防府を代表する飲み物。現在は販売されていないが、紙パックに描かれていたパッケージを見ればつい「あ！」と声が出てしまう懐かしき存在です。



## イノマタうどん

防府市民なら誰もが知る青のデザインに「ゆで」の文字のうどん。あまりに昔から見てるため、防府市民は意外に防府産である事を知らないほどに染み込まれた存在。現在も市内ほとんどのスーパーなどで販売されており、なんとこのパッケージも原材料も50年以上変わらないとの事。少しやわらかめの麺は、家庭の味の緑の下力持ちとして防府市民の胃袋を今も優しく支えてくれています。



## 旧防府駅舎と駅前アーチ

二階建ての旧防府駅舎が1963年に構造され、駅前のロータリーには駅のシンボルともいえるアーチがありました。市内でのイベントなどがこのアーチに掲載されることもあり、まさに市の顔ともいえる存在として親しまれていました。現在の防府駅舎は1994年から本格的に高架駅舎として生まれ変わりましたが、今もなお旧駅舎とアーチは防府市民の心の中に生き続けています。



## 春日神社 鬼ステッカー

春日神社の公式ロゴにも登場する「鬼ステッカー」。防府市内ではこの鬼ステッカーを貼った車を多く見かけるほど地域になじんだ存在です。他市や他県で山口ナンバーにこのステッカーが貼ってあると同郷だなと勝手に仲間意識を持ってしまふほど。実はこのデザインは先代宮司さんがテレホンカードの作成用に一筆書きされたもので、現宮司さんに代替わりしてから本格的に春日神社の象徴として活躍するようになりました。



## シークレット

「駅を出たらこちらの建物がお出迎え」。古くから防府駅前を照らし続けてきた存在。出張から帰ってきた時には、東芝の大きな看板が見えると防府に戻ってきたと実感する人も多かったとか。和洋レストランに喫茶店、お土産から居酒屋までとバラエティーに富んだ店舗づくりとサービスに全力を注ぎ続けた名店。現在は閉店しており、当時を知る方たちには懐かしい・寂しいといった惜しむ声は今なお多々あります。

※画像と実際の商品が多少異なる場合がございますので、ご了承ください。※性質上、同じ商品が続けて出てくる場合があります。※画像はイメージです。イラスト以外の部分は透明になります。



投稿で次회가ちゃのラインナップが決定します!!

次회가ちゃのリクエストツイートを募集中! 二次元コードからご応募お願いします。思い出のお店などがキーホルダーになって登場するかも!

【企画・お問い合わせ先】

SIS株式会社

https://siskk.com

〒755-0008 山口県宇部市明神町3-1-3